



# 施工手順

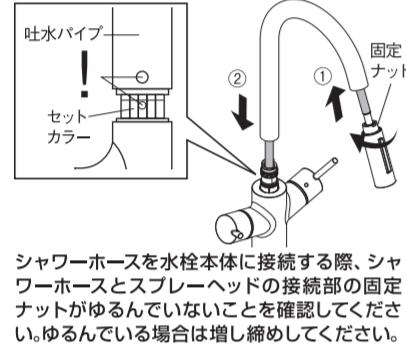
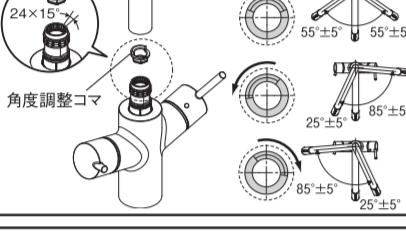
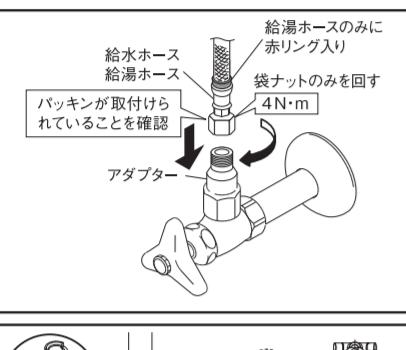
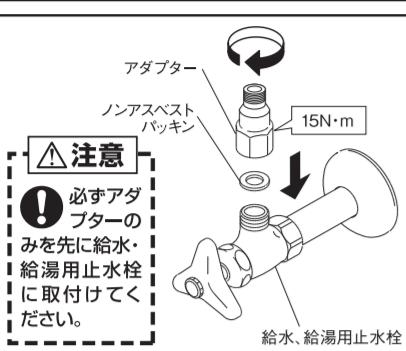
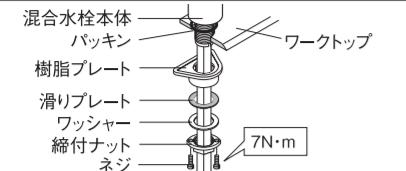
## 注意 水圧点検

●この浄水器の使用可能水圧は0.15~0.5MPa(1.52~5.1kgf/cm<sup>2</sup>)です。  
それより高い場合は水用減圧弁を取付けてください。

MeSUI

裏面も必ずご覧ください。

## 1 混合水栓本体の取付方法



### 注意

●取付ける前に必ず給水管内のゴミ、砂などを完全に洗出してください。  
洗出しが不十分な場合、浄水器カートリッジが早く目詰まりすることがあります。また混合水栓のシール部を痛め水漏れの原因になることがあります。

1 混合水栓を設置する場所に取付穴を開けてください(穴径約35~38mm)。

### 注意

●ワークトップが大理石、人造大理石、ホーローなどの場合、無理に穴を開けようすると、ワークトップが破損することがあります。

●混合水栓は33mm以下の厚みのワークトップに据付けてください。

2 樹脂プレート、滑りプレート、ワッシャー、締付ナットを取り外し、混合水栓の配管部に注意して、パッキンがあることを確認し、混合水栓を取付穴に差込んでください。締付ナットからネジを取り外し、下部から樹脂プレート、滑りプレート、ワッシャー、締付ナットの順で取付け、締付ナットを締付けてください。締付ナットにネジを取り付け、マイナスドライバーで締付けてください。ネジの締付トルクの目安は7N·mです。

### 注意

●ワークトップの厚みが8mmより厚い場合は、樹脂プレートを取付ける必要はありません。

3 アダプターにパッキンが取付けられていることを確認してから、給水、給湯用止水栓にスパンなどでしっかりと締付けます。締付トルクの目安は15N·mです。

4 給水・給湯ホースのナット内側にパッキンが取付けられていることを確認して、給水・給湯ホースをアダプターに締付けます。ナットの締付トルクの目安は4N·mです。

### 注意

●給水・給湯ホースがよじれないように袋ナットのみを回して、取付けてください。

●給湯ホースの赤いリングを確認して逆配管にならないようにご注意ください。

●給水・給湯ホースは半径35mm以上の大きな曲げ半径にしてください。

●給水・給湯ホースは、無理に曲げないでください。通水不良の原因となります。

5 角度調整コマの保護カバーを外し、角度調整コマの位置により吐水パイプの左右回転角度を調整してください。吐水パイプの回転角度は110°±10°です(左右均等にならない場合があります)。

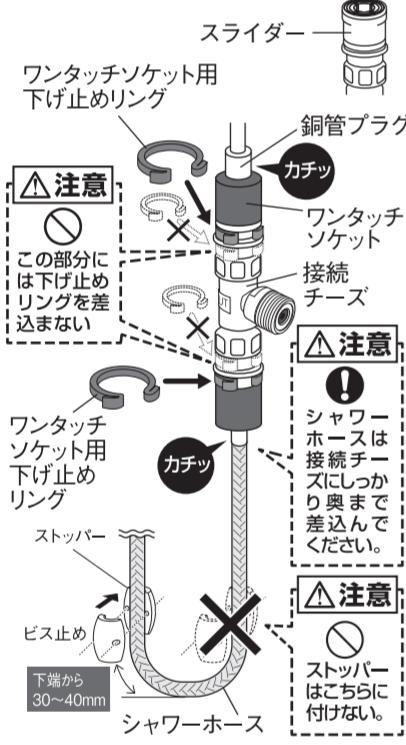
6 セットカラー凸部を混合水栓背面に移動させ、吐水パイプ下端の穴に合わせて、吐水パイプをセットカラーに押込んでください。

7 混合水栓に「ご注意札」を取付けてください。



## 2 シャワーホース、ストップバーの取付方法

※「カチッ」と音がするまで押込むと、スライダーが移動してロックがかかります。



1 接続チーズの保護カバーを外し、水栓の銅管プラグを接続チーズに差込んでください。

2 ワンタッチソケットの銅管プラグを接続していない側に、シャワーホースを差込んでください。ワンタッチソケットを取付けた後、スプレーへッドを引出し、シャワーホースにひっかかりなどがない、スムーズに引出せることを確認してください。

3 銅管プラグ側、シャワーホース側それぞれに下げる止めリングを必ず差込んでください。確実にセットされているか、スライダーを動かして銅管プラグ、シャワーホースが外れないことを確認してください。

4 ! ストップバーはシャワーホース下端からスプレーへッド側へ約30~40mmの位置に必ず取付けてください。

●ストップバー位置を間違えると、シャワーホースに無理な負荷がかかり、通水不良や水漏れの原因となります。

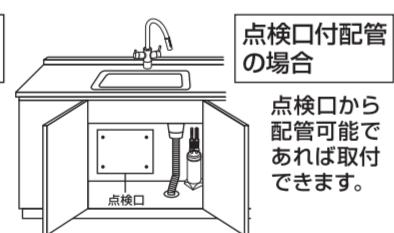
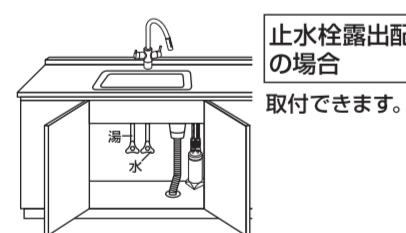
●シャワーホースがスムーズに引出せ、引出し長さが300mm以内になることを確認してください。

●300mm以上引出せるときは、ストップバー位置が間違っている可能性があります。

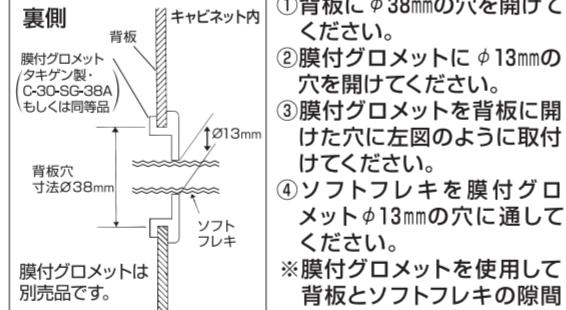
5 水滴がシャワーホースを伝わって床に落ちる場合がありますので、[水受容器(オプション品)]をあわせてご使用ください。

## 3 浄水器カートリッジの設置方法

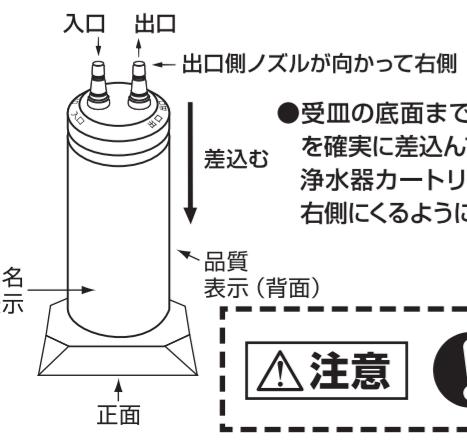
### ●取付できるキッチンのタイプ



### ●点検口付配管のときは…



## 1 浄水器カートリッジの受皿への据付



### U字プラグを使用する場合

浄水器据付け後、実際にご使用されるまでの期間が長い場合は、浄水器カートリッジを清潔に保つために、取付工事の際、浄水器カートリッジの代わりに、「U字プラグ」を接続してください。

●U字プラグを使用する場合、以後の施工手順では「浄水器カートリッジ」を「U字プラグ」として読み替えて工事してください。

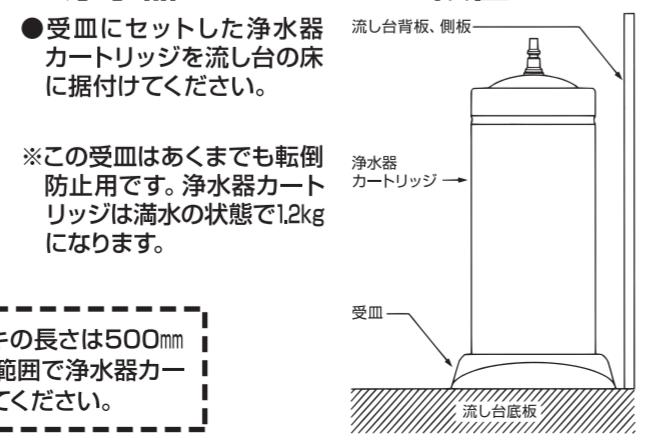
●⑥のろ過流量の調節は必要ありません。

●浄水器カートリッジは包装袋を開封せず、そのままシンク下に保管してください。

●受皿もシンク下に保管してください。

●この高さを浄水器カートリッジの高さに合うよう調節してください。

## 2 浄水器カートリッジの設置



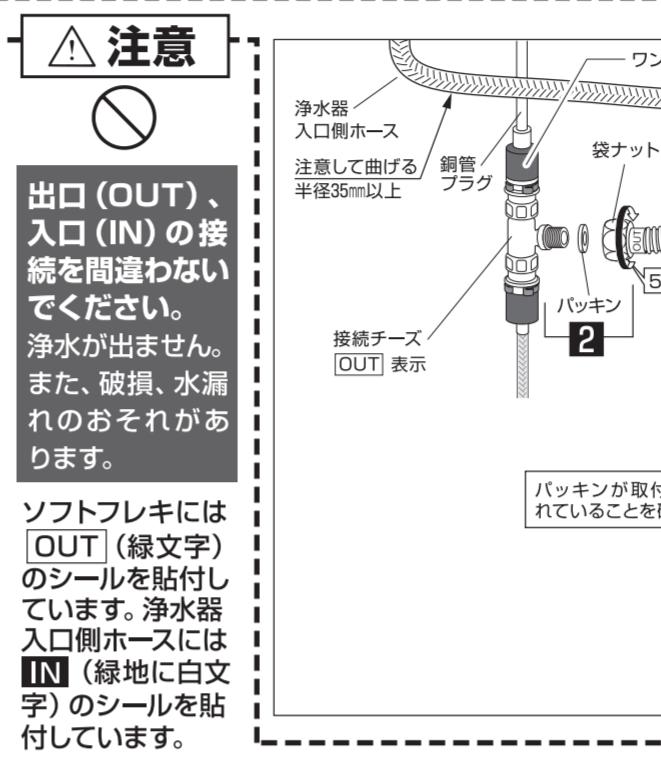
## 4 配管接続方法

1 浄水器入口側ホースのナット内側にパッキンが取付けられていることを確認してから、入口側クイックジョイントを接続してください。

※1の締付トルクの目安は4N·mです。

### 注意

●浄水器の入口側ホースは半径35mm以上の大きな曲げ半径にしてください。



2 OUT側ソフトフレキの袋ナットにパッキンを挟み、接続チーズに接続してください。

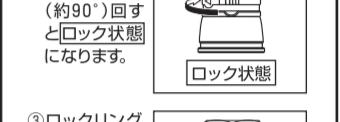
※2の締付トルクの目安は5N·mです。

3 浄水器カートリッジの出口表示側ノズルに、出口表示のクイックジョイントを「カチッ」と音がするまでしっかりと差込んでください。

4 浄水器カートリッジの入口表示側ノズルに、入口表示のクイックジョイントを「カチッ」と音がするまでしっかりと差込んでください。

### ロック機構のロック・解除方法

セイティフロッキ機構は、クイックジョイントと浄水器カートリッジの接続時に不意にクイックジョイントが外れないないようにする機構です。



①本体部分(図の斜線部)とロックリングをそれぞれ手で持ちます。  
②ロックリングを矢印の方に向かってカチッと音がするまで(約90°)回すとロック状態になります。  
③ロックリングを矢印と逆方向にカチッと音がするまで(約90°)戻すと解除状態になります。  
④ロックリングを矢印と逆方向にカチッと音がするまで(約90°)戻すと解除状態になります。  
\*あらかじめクイックジョイントをロック状態としても取付けはできます。

### 注意

●クイックジョイントは、「カチッ」と音がするまで差込んでください。

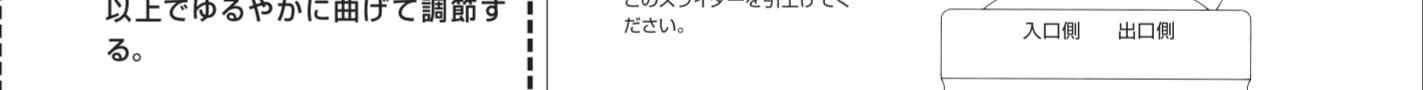
●ロックリングを90度回転させて必ず「ロック状態」にしてください。

●確実にセットされているか、クイックジョイントの上部を引張って必ず確認してください。差込みがゆるいと水漏れの原因になります。

●クイックジョイントに接続する際、ノズル部に無理な力がかかるないように次のことを守ってください。

・上部のソフトフレキは垂直部分を100mm以上確保する。

・ソフトフレキは半径25mm以上、浄水器入口側ホースは半径35mm以上でゆるやかに曲げて調節する。



## 5 浄水器への通水と水漏れチェック(取付後の確認)

### 注意

最初に湯水レバーを湯・水の位置で「閉」になっていることを確かめて、給湯・給水用止水栓をゆっくり全開にしたあと湯水レバーを「開」にして、汚れがとれるまで通水してください。

そのまま浄水器カートリッジに通水しますと、配管工事による、ゴミ、汚れなどが浄水器カートリッジ内に流れ込み、浄水機能が損なわれます。

湯水・淨水いずれも吐水量が少ないと、スプレーへッド内のストレーナーにごみが詰まっているおそれがあります。

スプレーへッドを引出し、スパナなどで固定ナットを緩め、ストレーナーを取り外して清掃してください。清掃後はストレーナーを逆の手順で取付け、固定ナットをしっかりと締付けてください。

●固定ナットは確実に締付けてください。締付けがゆるいと水漏れし、思わぬ漏水事故につながるおそれがあります。

4 水漏れチェック後、浄水レバーを「閉」にして、気泡が消えるまで(3分間以上)放水してください。

5 初期放水後、浄水レバーを「閉」にしたまま、混合水栓各部からの水漏れがないことをチェックしてください(→右図の黒い矢印部分)。

6 水漏れチェック後、浄水レバーを「閉」にしてください。

\*放水時間は気泡が消えるまでの目やすの時間です。多少の前後があります。

## 6 ろ過流量の調節

### 適正ろ過流量でお使いください。

浄水レバーで調節してください。

●適正ろ過流量  
4L/分(180mlを約3秒間で)

